

令和7年度キャリアレベル別研修実施要項（中堅期保健師）

1. 開催目的：保健医療福祉施策を理解し、所属する自治体の地域特性に対応した事業を企画立案できる人材を育成する。
2. 受講対象：秋田県内各保健所、市町村の保健師
キャリアレベル A-2～A-3 または行政保健師としての経験年数概ね 6 年から 15 年
3. 受講定員：10～12 名程度
※申込状況によっては受講者の調整を行い、全員が受講できない場合もあります
4. 育成後の到達目標：
 - 1) 所属自治体の施策体系や財政のしくみ、法的根拠や関連政策について説明できる。
 - 2) 作成した事業を評価に基づき見直しを行い、新規事業計画の立案に向けた所属自治体の健康課題を明らかにすることができる。
 - 3) 事業計画（予算を含む）立案にあたり、計画に合わせた予算を立てることができる。
 - 4) 作成した事業計画を他者（上司）に向けて説明できる。

5. 開催期間：令和7年10月～令和8年2月（計3回）

回	年月日・場所	時 間	内 容
1	10 月 17 日 (金) 大学講義室	10:00 ～ 17:00	講義 1. 保健師のコアバリュー・コアコンピテンシーの概要 2. 施策化、事業化、予算のしくみ 3. 担当する事業の分析 4. 企画書の書き方 演習 1. モデル企画書の作成演習（個人で企画書を作成する） ・情報交換（個人作業を通しての疑問点等を話しあう）
2	12 月 19 日 (金) 大学講義室	10:00 ～ 17:00	演習 1. グループ内で各自が作成した企画書の検討 ・1 グループ 4 名程度、ファシリテーター 1 名 ・作成した企画書について説明する。 ・企画書についてメンバー間での意見交換及び助言 ・ファシリテーターから助言 講義 1. 相手に伝わるプレゼンテーションについて

3	2 月 20 日 (金) 大学講義室	10:00 ～ 17:00	演習 1. プレゼンテーション ・受講者全員が、各自作成した企画書を基に、パワーポイントで発表資料を作成し発表する ・ファシリテーターは説明を聞き、質問、助言をする（ファシリテーターは発表者が所属する上司の立場で説明を聞く）。 ・発表者以外の受講生は積極的に質問、意見を出す。 発表 10 分、質疑 10 分、 評価（受講生同士の即時評価） ・講評（全体） ・フリートーク（今後の取り組み・抱負・仲間づくり） ・アンケート記入
---	--------------------------	---------------------	--